



1、後期始業式（総務課より）



9月30日(月)、後期始業式を行いました。今年度より2学期制になったことで、例年とは違った雰囲気ではありましたが、後期生徒会執行部の任命、各種表彰が行われました。前期の終わりには成績が通知されました。節目というものはとても大切で、成長するチャンスですので、前期の振り返りを活かして、後期では気分新たにスタートしてほしいと願っています。

2、ロンドン日本人学校との部活動交流会（部活動担当より）

9月最初の学園行事であるロンドン日本人学校との部活動交流が今年も行われました。今年度は新たに美術部が加わり、バスケットボール部・サッカー部・テニス部・美術部に分かれ、それぞれ中学生との活動を行いました。英国に住む生徒同士が部活動を通して交流する機会はほとんどないため、良い交流の機会と場になりました。



3、緑舎祭の売上金の一部を寄付 (KBK より)

緑舎祭の売上金の一部、£150をチャリティー団体 Save The Children に寄付しました。お越し下さった保護者の皆様、当日一生懸命頑張った生徒の皆さん、本当にどうもありがとうございました。



4、各コースより

サッカーコース

サッカーコースは夏休みに日本で活動しました。昨年度に引き続き、帝京大学可児高校（岐阜県）の遠征に参加させていただきました。全国大会常連の高校と試合をすることができ、改めて日本の高校サッカーのレベルの高さを体感することができました。保護者の方をはじめ、多くの方のサポートのおかげで様々な活動ができていていることに感謝をしながら日々のトレーニングに精進していきます。

中学生を対象に実施したサッカークリニック（in 東京、in 大阪）では、在校生だけでなく、卒業生もサポートに駆けつけてくれました。



アートコース

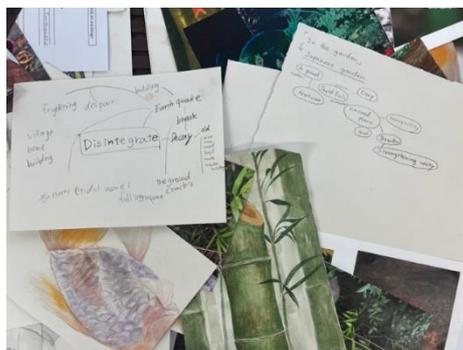
9月の授業では、写真家・富岡秀治さんをお招きして写真講習会を行いました。

初めて持つ一眼レフカメラに「重い…！」という声も聞こえる中、撮影体験を行い、最後には鑑賞の時間を持ちました。

水曜日の授業では北欧の工芸文化を学ぶ授業の一環で「ククサ」という木製カップ作りを行ったり、金曜のクラスでは高校3年生達が自分の手の石膏型取りを行ったり、日本の伝統工芸理解の一環として「金継ぎ」を行ったりします。本物の漆を使って「麦漆」作りや金うし塗りに挑戦しています。

Ko2の生徒達は、10月末に行われるIGCSEの試験に向けてそれぞれのテーマごとに日々制作し、Ko1の生徒は色相環や色の勉強を英語で習い丁寧に彩色しました。





5、寮便り

学園寮は、2人の転入生を新たに迎え、9月から再開しています。ここまで、再会の喜びも手伝って、期末考査を挟みながらも、寮キャプテンたちが毎週のようにイベントを企画し、8月後半には静けさが漂っていた学園に、にぎやかなムードが帰ってきました。寒さと暗さが徐々に押し寄せてきていますが、皆で力を合わせて、冬休みまで盛り上げていきたいと思います。

6、保健室より

学園には、夏休み中にエネルギーを蓄えてきた皆の元気な声が響いていますが、イギリスは気温が段々と下がってきており、寒暖の差も大きくなることから、風邪をひく生徒たちも増えることが予想されます。日頃からの手洗いやうがいを習慣とし、冬休みまで体調管理に努めていきたいと思います。

7、久保満理先生勤続100学期

イギリスでは100学期間、先生として勤めた人をお祝いする伝統があります。久保満理先生は、今学期をもって100学期間を終られました。久保先生は帝京ロンドン学園が設立した当時赴任され、多くの生徒達を教え、そして卒業生を送り出してきました。先生の教え子たちは世界中で活躍し、ロンドンを訪れた際には、先生を訪ね懐かしい話に花を咲かせています。先生は、生徒たちが教室で学ぶだけでなく、生きた英語を使えるように、英国の文化や習慣を体験する校外学習も積極的に実施されています。同時に、地域のお祭りやトラファルガー広場でのジャパン祭りで生徒と一緒に盆踊りを披露したり、神輿を担いだりと日本の文化を英国の地に広めることにも熱心に取り組んでおられます。このような素晴らしい先生が帝京ロンドン学園にいらっしゃることは学園の誇りです。学園を代表して先生に心より感謝申し上げます。

